

十
帖
源
氏
八



字治十々上

しーひめ

志ぬうま

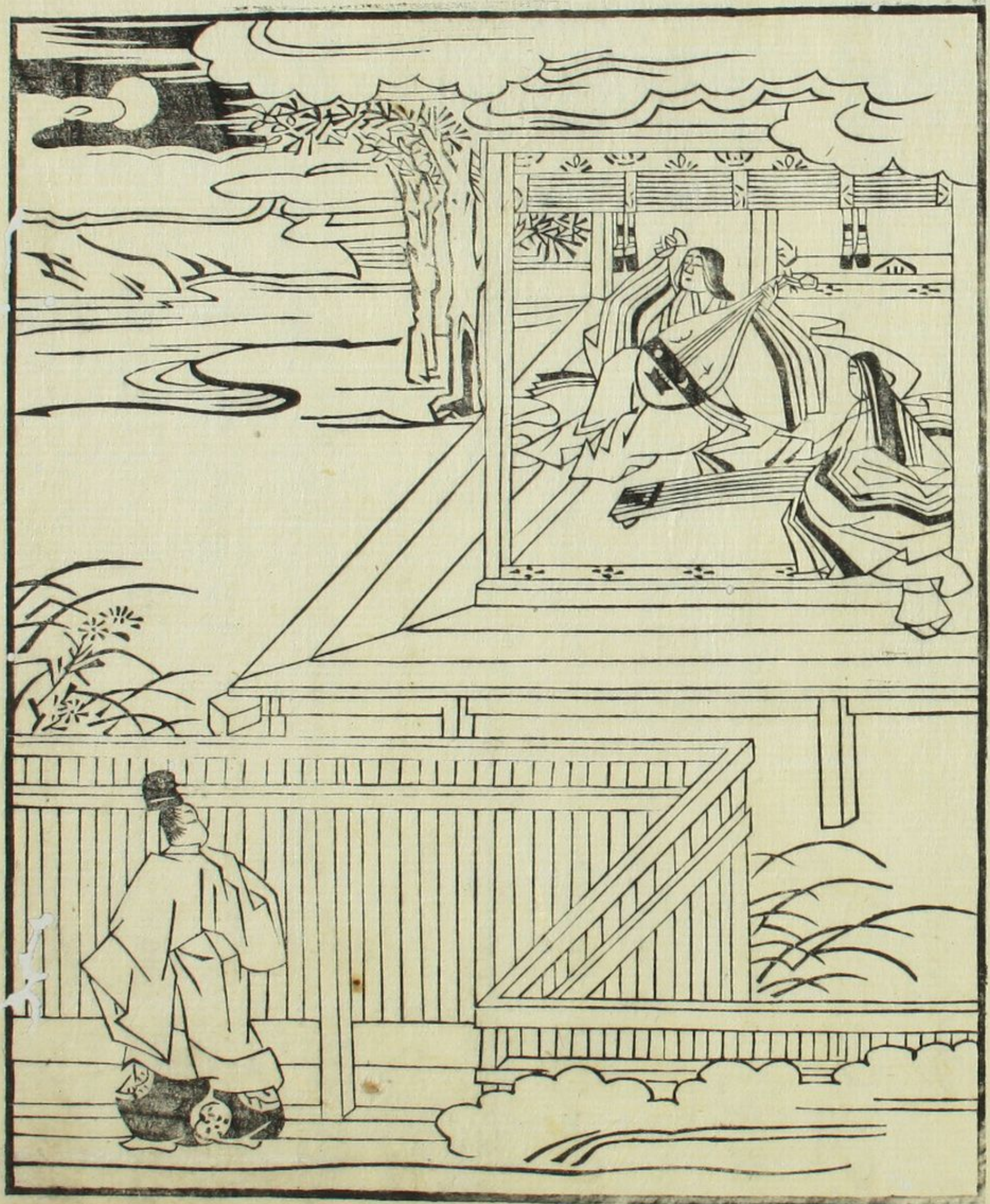
あぢかぬ



楊梅 廿九日 夕 廿一
夕 朔 三 日

源
乃美いおちやけさうい
とまれまふさくおのい昔
去年よりおちやけさうい
又さういさういさうい
こいさういさういさうい
さういさういさうい
文におちやけさうい
くいさういさうい
さういさういさうい

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a poem or narrative. The text is arranged in approximately 12 vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and connected, characteristic of a specific calligraphic style.



おしよりのうらなひおとすはつたもまはさるなり
きよの姫君も入はせしるこもまのうらなひあやめ
ひらちりくたはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
はらんも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ

おしよりのうらなひおとすはつたもまはさるなり
きよの姫君も入はせしるこもまのうらなひあやめ
ひらちりくたはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
はらんも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ
まてかくも思ひあはれはつたもまのうらなひあやめ

うら
しひちれらちとらみきたせさす
きりのきけくし神をぬれぬる

まのりんよめをそしけつらる 雌若

しあつを路の川おき物夕せん

まのりんや神をくらしん

素より車あつぬしんて家のこと喜におれり

れぞもみかふものぬしよめさちけてはあゆま

なすあけけりぬくは又あつぬしけしん

てもあつてよとよふなをたあつてはあつて

ゆふしんくちんたをのせしは使よて并ま

とやあつぬしひしんてあつてあつてあつて

孫よ乃白ははすあをまけつてにのりつての傍

よもきぬらけいけいあつてあつてあつて

及はまきてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
白きん

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

十月めらるれあつてあつてあつてあつてあつて

よあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

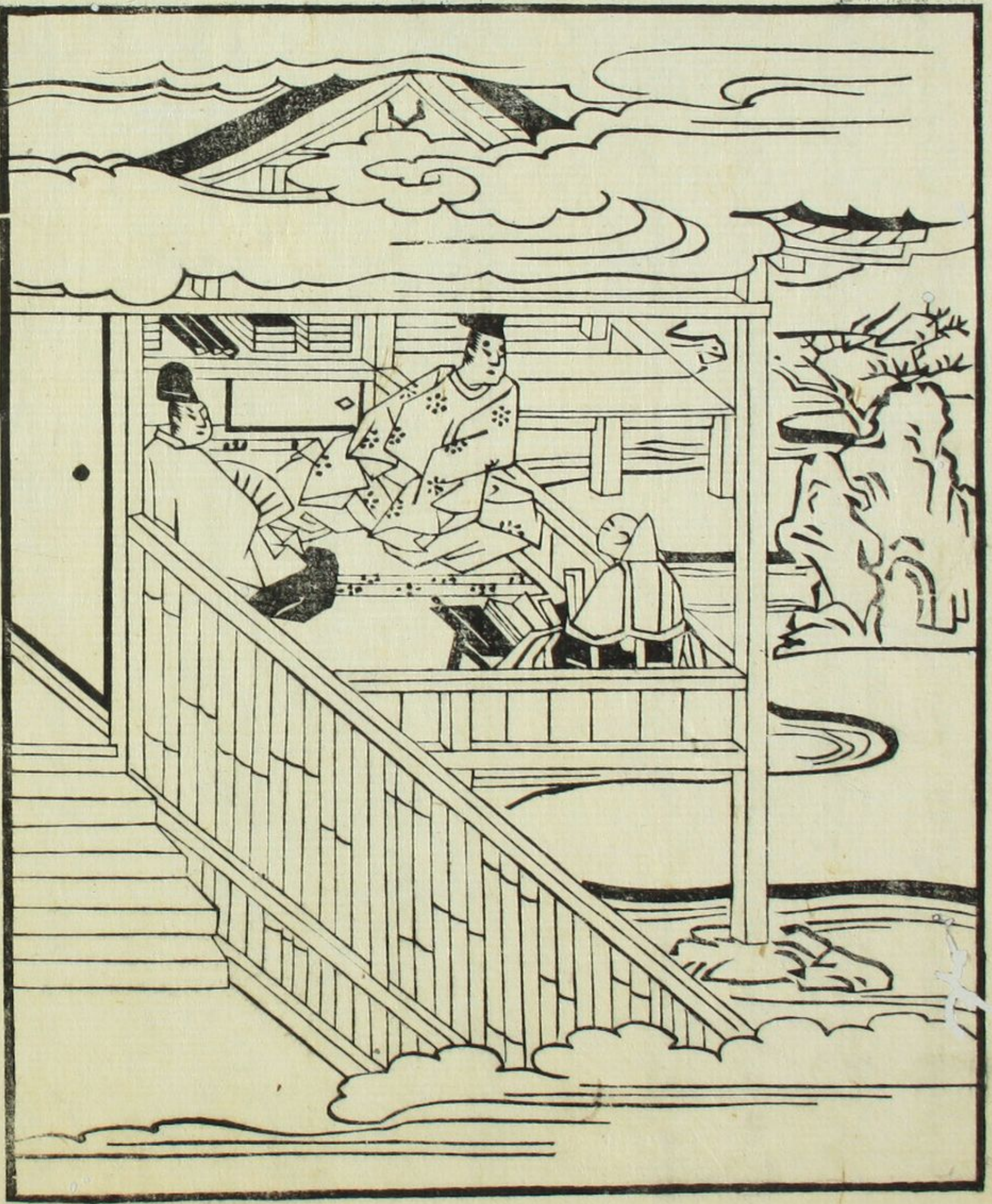
いさけあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

さあめいびよういんあめのぬけけりし物り
きんづううわんどう思多うくくうきんづういんあ
きんづういんあきんづういんあきんづういんあ
いんあきんづういんあきんづういんあきんづういんあ
いんあきんづういんあきんづういんあきんづういんあ
いんあきんづういんあきんづういんあきんづういんあ
いんあきんづういんあきんづういんあきんづういんあ
いんあきんづういんあきんづういんあきんづういんあ
いんあきんづういんあきんづういんあきんづういんあ
いんあきんづういんあきんづういんあきんづういんあ
いんあきんづういんあきんづういんあきんづういんあ
いんあきんづういんあきんづういんあきんづういんあ



まゝにまだくささぬとせんをたのむ事
 のおぼろげなるがほのぼのたること
 られまらん

推挙

うりの世ニモ とうくはひれ
 きてこの世の世に宿よ白き心は
 てはり上なきやどく世の世に
 まろく言はれどもくはるはくは
 まじりくちりこもくはるはくは
 中おきあはれむくはるはくは
 つて人といはれむくはるはくは

乃卒お指中のはくはる人の昔葉たつて
 びんねるくはるはくはるのくはるは
 くはるはくはるはくはるはくはるは
 くとにおのせりてはくはるはくはるは
 めもはくはるはくはるはくはるは
 実よりあつたおのくはるはくはるは
 乃かりてはくはるはくはるはくはるは
 じきよひはくはるはくはるはくはるは
 とはくはるはくはるはくはるはくはるは
 ーちりてはくはるはくはるはくはるは
 川をの柳のまきよはくはるはくはるは

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. Some characters are written in a slightly larger or bolder hand, possibly indicating emphasis or specific names. The ink is dark and the paper shows signs of age.

Handwritten text in cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. Some characters are written in a slightly larger or bolder hand, possibly indicating emphasis or specific names. The ink is dark and the paper shows signs of age.

しあの中らうらうらあおるるこならくよす紙す
まよあを海にそ波をりしからるるに只いふ
九し行りあがり年らうきりすのあふま
ほの事らりひひらひらるる船を海にたま
人よあまよほららあまよひららあまよ
るけい給らうらう中船を海にわらわら
可くそあまらあまよらあまよらあまよ
にあまらあまよらあまよらあまよらあ
まらうらあまよら

まらうらあまよら

小葉うき花れかおらよら

はは中たまよそはらあまよらあまよ
まらうらあまよらあまよらあまよら
まらうらあまよらあまよらあまよら

まらうらあまよら

まらうらあまよら

ははにらあまよらあまよらあまよら
あまよらあまよらあまよらあまよら
あまよらあまよらあまよらあまよら

あまよらあまよら

あまよらあまよら

あまよらあまよらあまよらあまよら
あまよらあまよらあまよらあまよら



大志

志たして志れけみらか
 杉の香もなかにしし
 け

おこ乃杉をよつる香と
 きい人なめいさ
 中納言

中納言かろうに火おけそうおしらう
 りよ自まれのりさひ多に大志い
 事とおりもかげど人のおやうそ中
 志おりまらるる志おりそやわい
 身あつの山也年らりいりいりいりいり
 大志 香しきいりいりいりいり
 又よいりいりいりいりいりいり

此如わづらひをよきにわれあかすにせむ

はらわらふとてはやくとてしむ

まゝにさしつかへなくしむ

考へてさしつかへなくしむ

人あつてさしつかへなくしむ

はさめなくしむ人の入

乃たのまじくしむ人の入

ふしとてさしつかへなくしむ

ふしとてさしつかへなくしむ

是行のまじくしむ

たらむとてさしつかへなくしむ

むしとてさしつかへなくしむ

年かたしむとてさしつかへなくしむ

わうかたしむとてさしつかへなくしむ

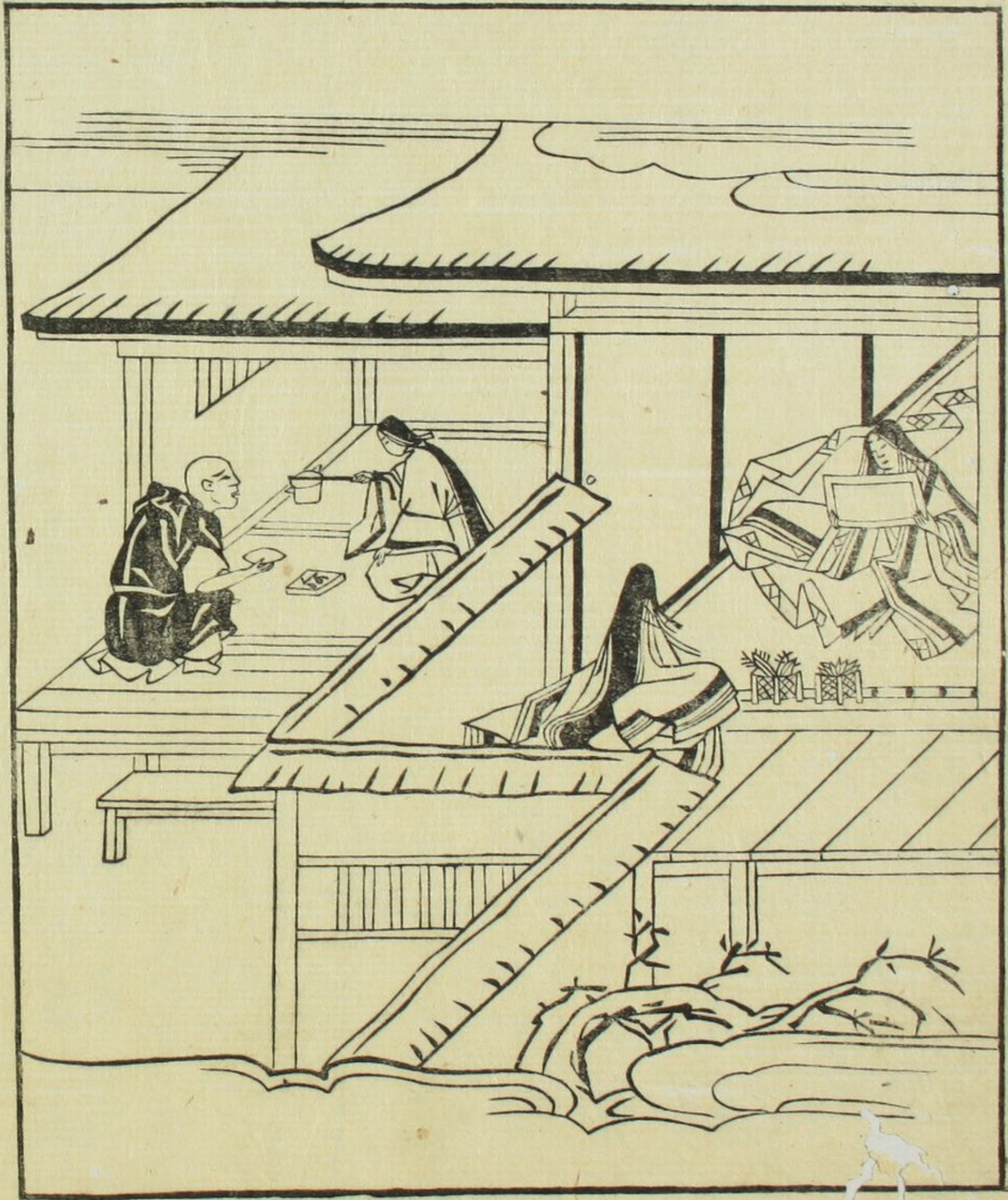
まゝにさしつかへなくしむ

まゝにさしつかへなくしむ

まゝにさしつかへなくしむ

まゝにさしつかへなくしむ

まゝにさしつかへなくしむ



中絶するも、
 らしきとて、
 白文

中表

かすも、
 い、
 中絶するも、
 らしきとて、
 白文

あつたふとをうさなふたふとふとふとふとふと
 とたふとせんとふとふとふとふとふと
 なるふとふとふとふとふとふとふと
 ねのちふとふとふとふとふとふと
 けふのけふふとふとふとふとふと
 とあふとふとふとふとふとふと
 しふとふとふとふとふとふと
 ねのちふとふとふとふとふと
 ふとふとふとふとふとふと
 ねのちふとふとふとふとふと
 ふとふとふとふとふとふと
 ねのちふとふとふとふとふと

あつたふとをうさなふたふとふとふとふと
 とたふとせんとふとふとふとふとふと
 なるふとふとふとふとふとふとふと
 ねのちふとふとふとふとふとふと
 けふのけふふとふとふとふとふと
 とあふとふとふとふとふとふと
 しふとふとふとふとふとふと
 ねのちふとふとふとふとふと
 ふとふとふとふとふとふと
 ねのちふとふとふとふとふと
 ふとふとふとふとふとふと
 ねのちふとふとふとふとふと
 ふとふとふとふとふとふと
 ねのちふとふとふとふとふと
 ふとふとふとふとふとふと
 ねのちふとふとふとふとふと

Handwritten text in cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is written in a fluid, connected style.

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or letter. The characters are well-defined but connected.

Handwritten text in cursive script, the bottom portion of the page. The text appears to be a continuation of the previous page's content.

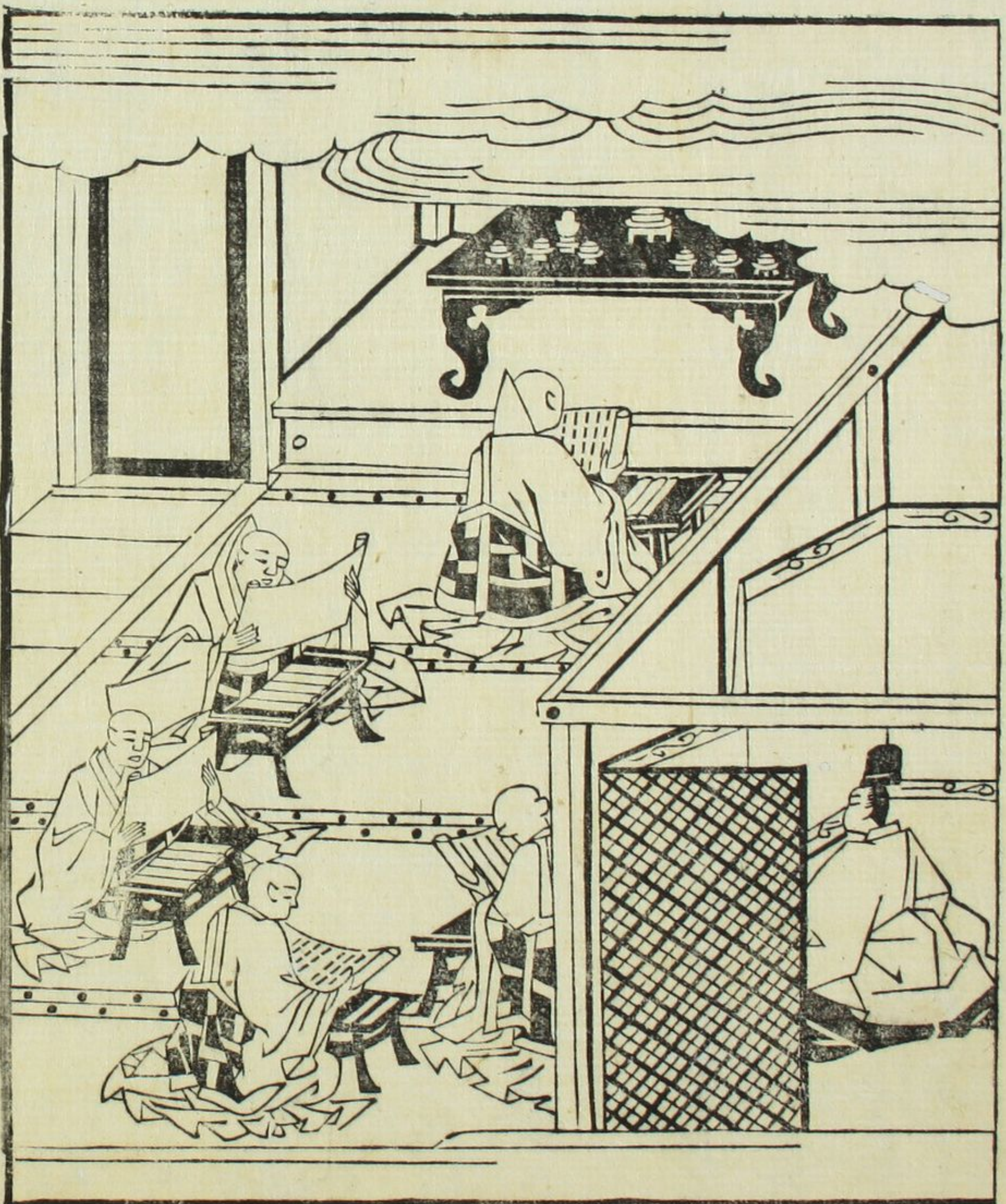


いちまのま中かひりうりかたまは
 きうはりのまかし理そこのまの事う
 りのわて事お中お

いけまやも花はさうりよ一ちん一
 かのりい人や林いん一

花もさうらまはさうらまはさうら
 花もさうらまはさうらまはさうら

まはさうらまはさうらまはさうら
 まはさうらまはさうらまはさうら



まろ

あはれゆるみまきりあらしりしり

たしなむしりあらしりしり

中志

あらしりあらしりしり

あらしりあらしりしり

あらしりあらしりしり

あらしりあらしりしり

あらしりあらしりしり

あらしりあらしりしり

あらしりあらしりしり

あらしりあらしりしり

あらしりあらしりしり

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, slightly yellowed paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting from the top left and moving downwards. The script is highly stylized and characteristic of the Ottoman or Persian calligraphic traditions.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, slightly yellowed paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting from the top left and moving downwards. The script is highly stylized and characteristic of the Ottoman or Persian calligraphic traditions.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

